

クラス番号	211	ゼミタイプ	エクスカージョン型
		担当教員名	小林勇人
テーマ	労働・福祉・環境の関係を考える——無農薬有機栽培を手掛かりに		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

近年、グローバル化や脱工業化の影響を受けて、雇用と家族が不安定化し貧困問題や社会的排除が深刻化するとともに、生物多様性の危機や気候変動問題など環境問題が注目されています。これに対して、第一に、労働と福祉の連携を強める（就労）支援型の社会保障政策が実施され、第二に、環境への負荷を減らす持続可能な経済成長への取り組みが行われてきました。それでは、第三に、福祉と環境の関係は、どのように考えることができるのでしょうか。

本ゼミは、参考書の精読とフィールドワークを通して、①労働や経済、②社会保障や教育、③自然環境、がどのように連携することが望ましいのかについて学びます。また三者の連携を通して、労働問題や失業・貧困問題、いじめや教育問題、難民問題、さらにはコミュニティの解体といった問題にも視野を広げて、解決策を模索します。

授業計画：

<前期>

参考書を精読し、基本的な知識や概念を習得します。参考書を要約し、グループに分かれて討論し、全体で共有します。これらを通して、後期のグループワークのテーマ選びに繋げていきます。参考書はみなさんと相談して決めます。

<後期>

無農薬有機栽培の農園でフィールドワークを行い、報告・討論会を行います。前期の学習と繋げながら、グループを作って、フィールドワークの準備を行い、フィールドワーク後は、ゼミ内で報告・討論会を行います。フィールドワーク先は、みなさんと相談しながら決めます。

担当教員からのメッセージ

前期は、参考書の精読と要約を通して、<読む><書く>力の獲得に重点を置きます。後期は、フィールドワークを通して、<聞く><話す>力の獲得に重点を置きます。

フィールドワーク先について、例えば、農業によって障害者の雇用を促進する「農福連携」がイメージしやすいかもしれませんが、ただし、ゼミでは、無農薬有機栽培を手掛かりに、効率や生産性を重視した社会の仕組みについて広く考え直していきます。そのため農福連携だけではなく、「地域活性化」や「コミュニティの再生」も重要なテーマとなります。フィールドワークの詳細は、みなさんの希望を聞きながら決めていきます。